

(財)日本ユニセフ協会岩手県支部
2008年度

第 2 回 理 事 会

議 案 書



2008年11月15日～23日

ユニセフ ネパールスタディツアーに参加 いわて生協常務理事 福士久美子さん

■ 日 時 2009年2月25日(水) 13:30~15:00

■ 会 場 プラザおでって 3F 特別会議室

(盛岡市中の橋通一丁目1-10 TEL 019-604-3300)

(財)日本ユニセフ協会岩手県支部

unite for
children

unicef 

(財) 日本ユニセフ協会岩手県支部

プ ロ グ ラ ム

1. 日 時 2月25日(水) 13:30~15:00

2. 会 場 プラザおでって 3F 特別会議室

3. 次 第 開 会

あいさつ

議長選出

議事録署名人の選出

書記任命

議案の提案

第1号議案 2008年度事業報告・決算見込みの件

第2号議案 2009年度事業計画・収支予算(案)の件

第3号議案 岩手県支部役員に関する件

議長解任

閉 会

(特別報告)

2008年11月15日~23日

ユニセフネパールスタディーツアー報告

いわて生活協同組合常務理事 福士 久美子さん

第1号議案 2008年度事業報告・決算見込の件

はじめに

2008年度は、ミャンマー・サイクロン、中国四川大地震、ガザ人道支援など自然災害や紛争下の子どもたちを守るために緊急募金を呼びかけ、子どもたちの支援に取り組んでいます。5歳未満児の死亡は年間970万人から920万人と減少しましたが、世界の子どもたちの状況は依然として厳しい状況です。

(財)日本ユニセフ協会は、1955年創立しユニセフとの「協力協定」のもと、国内における募金活動、広報活動、「子どもの権利」の実現を目的としたアドボカシー（政策提言）活動を行っています。昨年3月から開始した「なくそう！子どもポルノ」キャンペーンは、11万4624筆の署名が集約され、要望項目の一つである単純所持の禁止を含めた〔児童買春・児童ポルノ禁止法〕の早期改正を求め、与野党幹部に署名を提出しました。（単純所持を禁止していないのは、G8国では日本とロシアのみ）

岩手県支部花巻友の会は、設立20年を記念し医師桑山紀彦さんの「地球のステージ」公演を開催し、開発途上国の子どもたちの状況やユニセフの支援活動を知る貴重な機会となりました。

ワンワールドフェスタ in いわてなど他団体との提携、学校のご協力で、2008年度も多くの子どもたちがユニセフ支援の活動に取り組みました。また、個人・団体からご支援をいただき、ユニセフ募金総額は1,000万円と前年を上回りました。

ユニセフを応援するユニセフ会員が花巻中心に増えましたが、全県への拡大が課題です。

1. 岩手県支部の運営

(1) 第1回理事会・評議員会7月30日、第2回理事会2009年2月25日に開催しました。

(2) 経費は、日本ユニセフ協会支部規約及び同支部運営細則に基づく、運営助成金659,000円、地域普及助成金1,148,385円、記念事業助成金100,000円（予算2,399,000円）でまかないました。

(3) 事務局とボランティア延べ50名の協力で活動を行い、日本ユニセフ協会の会議・研修会にも参加しました。

① 県支部の日常的な運営や企画の具体化を話し合う運営（構成：専務理事・常務理事）を3回開催し、活動を円滑にすすめてきました。また花巻友の会は、毎月10日に例会を開き、運営や活動の交流を深めました。

② いわて生協ユニセフ委員会は、ユニセフすごろくにつづいて、紙芝居を作成し学校や地域のユニセフ出前講座、募金活動に岩手県支部と一緒に活動してきました。

③ 諸会議・研修への参加

5月15～16日 日本ユニセフ協会地域組織事務局長会議（東京：ユニセフハウス）

事務局長 藤原綾子

2. 募金活動と会員拡大に取り組みました。

(1) 2008年度岩手県支部に寄せられた募金額は、10,325,372円と年度目標1,000万円を上回る募金額となりました。

ミャンマー・サイクロン、中国大地震などの緊急募金は33件3,842,481円となりました。

(2) 一般募金と緊急募金

- ① 学校では、総合的な学習の時間に、ユニセフに取り組み「世界の子どもたちを知り、自分たちにできることを見つけよう」と資料・ビデオ学習し、ユニセフ募金に取り組みました。
- ② 花巻友の会は設立20年のつどい「地球のステージ」公演、ユニセフバザーで、ユニセフカード・ギフトの頒布、ハンド・イン・ハンドユニセフ募金の呼びかけをしました。
- ③ いわて生協は、お店に募金箱を設置、共同購入での取り組み、ハンド・イン・ハンド募金、お年玉募金、書き損じ・未使用ハガキなどの取り組みのほか、カレンダー募金にも取り組んでいます。ミャンマー・サイクロン、中国大地震緊急募金は、いわて生協各店舗にペットボトル募金箱を設置し取り組みました。
- ④ 各生協では、岩手県学校生協では「スペシャルフェアオークション」「盛岡消費者まつり」、盛岡医療生協「健康まつり」でユニセフ活動に取り組みました。県内生協ではユニセフ募金箱の設置をし、日常的な募金活動に取り組んでいます。
- ⑤ 募金贈呈式は、学校9校・4団体でした。
上田小学校、滝沢小学校、星山小学校、矢沢小学校、南小学校、東水沢中学校、達古袋小学校、岩大少林寺拳法部、盛岡大学生生活協同組合、盛岡レオクラブ、立正佼成会盛岡教会、立正佼成会花巻教会、岩手県国際交流協会、

岩手県学校生協 学校募金贈呈10校

- ⑥ ユニセフハンド・イン・ハンド（全国一斉街頭募金活動）
花巻友の会12月7日、いわて生協・岩手県学校生協・盛岡大学生協・岩手県支部12月14日257人参加
県内では、756人（子ども571人）・28カ所で実施され、子どもたちの参加が多く募金額は869,109円となりました。
- ⑦ ユニセフ募金箱の設置
募金箱設置のご協力店・ホテルは、年1回募金回収し、日本ユニセフ協会に送金します。

(3) 岩手県国際交流協会2008ワンワールドフェスタ inいわて

11月16日（土）10:00～16:00 アイーナ
チャリティコンサートを開催し、盛岡市立上田小学校、岩手大学少林寺拳法部の募金贈呈、県立盛岡第二高校、ピアニストシンガーニンファさん、滝沢英語サロンのご協力をいただき募金を呼びかけました。

(4) ユニセフ会員拡大に取り組みました。

2008年12月末の会員

団体会員2件・（株）モリレイ、岩手県生活協同組合連合会、一般会員207人・学

生会員3人 合計212人（年間加入目標100人・新加入27人）となっており、
花巻中心に一般会員が増えましたが、全県に広めていくことが課題です。

3. 広報活動・開発教育に取り組みました。

(1) 広報活動

- ① 「ユニセフ視聴覚教材」の貸出しと日本ユニセフ協会発行の資料を有効活用しました。
学校での総合的な学習の時間や文化祭などで多く活用されました。
- ② 視聴覚教材の貸出しや資料送付、水がめ・地雷・蚊帳の貸出した学校・団体は20件です。
- ③ いわて生協ユニセフ委員会が作成したユニセフすごろくは、楽しみながらユニセフと世界の子どもたちについて学ぶことができ、学校やイベントで好評でした。
- ④ 岩手県支部ニュース、花巻友の会ニュースを年2回発行しました。

(2) 開発活動

- ① 岩手県支部・花巻友の会への訪問は5団体、ユニセフ出前講座は5校・2団体となり世界の子どもたちとユニセフの活動を学びました。
- ② 日本ユニセフ協会の展示場「ユニセフハウス」を見学した中学校は、20校308人でした。

4. ユニセフ写真パネル展に取り組みました。

(1) ユニセフ写真パネル展「インド 経済発展の陰で苦しむ子ども」

アグネス・チャン日本ユニセフ大使のムンバイ視察記録

2008年7月20～27日 盛岡市、花巻市 入場者延べ400名

子どもたちの深刻な様子を伝え、会場ではユニセフカードの頒布、古切手整理ボランティアに子どもたちや市民が参加しました。

(2) ユニセフ写真展「EYE SEE III」～子どもたちが見たもの～

10月15日～19日 イオン盛岡ショッピングセンター

ソニーがイオンと提携し、全国8ヶ所で開催。開催期間中岩手県支部がユニセフ活動紹介とユニセフカード&グッズの頒布をしました。

5. 岩手県支部花巻友の会設立20年のつどい「地球のステージ」公演

2008年9月5日 花巻市 なはんプラザ 入場者250名

大石花巻市長の祝辞、花巻市内小・中学校6校に感謝状贈呈の後、医師桑山紀彦さんが世界で起きている紛争・貧困地域の映像と音楽で「世界で起きていること・子どもたちの状況」を伝え参加者に大きな感動を与えました。

6. ユニセフカード・グッズの販売

カード・グッズの取り扱いは、円（前年比%）となり、学校・地域・団体のイベントでご案内し、ユニセフを知っていただく機会ともなりました。代金の50%はユニセフ募金となっています。

7. 他団体とのネットワークづくりをすすめました。

11月 7日 盛岡消費者まつり 岩手県学校生協

11月16日 ワンワールドフェスタ inいわて 岩手県国際交流協会

2008年度 岩手県支部活動日誌

- 4月14日 花巻友の会 総会
4月24日 2007年度会計監査
4月25日 国際交流協会企画会議
5月15日～16日 全国地域組織事務局長会議
5月24日 NPO法人地球のステージ総会
5月31日 ユニセフin宮古
6月 5日 北上市立北上南小学校募金贈呈
6月15日 立正佼成会花巻教会募金贈呈
6月20日 第1回運営会議
7月 4日 花巻市立南城中学校花巻友の会訪問
7月15日 一関市立達古袋小学校出前講座・募金贈呈
7月15日 国際交流協会連絡会議
7月20日～23日ユニセフ写真パネル展「アグネス・チャン日本ユニセフ大使インド経済発展の陰で苦しむ子ども視察記録」 盛岡市アイーナ
7月24日～27日 同上 花巻市 まなび学園
7月30日 2008年度第1回理事会・評議員会 プラザおでって
8月19日 ワンワールドフェスタ実行委員会
8月25日 いわて生協中国大地震緊急募金贈呈式
9月 5日 岩手県支部花巻友の会設立20年のつどい
9月28日 一関市三反田自治会30周年記念募金贈呈式
9月25日 花巻市立矢沢小学校募金贈呈式
10月3日 盛岡市立上田小学校 出前講座
10月4日 第2回運営会議10月27日 いわて生協福祉まつり 協賛
10月15日～19日ユニセフ写真展「EYE SEE Ⅲ」子どもたちが見たもの
10月25日 奥州市立東水沢中学校募金贈呈式
10月27日 ユニセフバザー 花巻友の会
11月 9日 ユニセフ学習会 いわて生協遠野
11月11日 滝沢村立滝沢小学校募金贈呈
11月16日 ワンワールドフェスタinいわて チャリティコンサート
11月28日 ワンワールドフェスタふりかえり会議
12月 7日 ハンド・イン・ハンド 花巻市
12月14日 ハンド・イン・ハンド 盛岡市
1月 9日 滝沢村ふじなでしこ学童保育出前講座
1月24日 盛岡レオクラブ募金贈呈式
1月26日 岩手県立大学社会福祉学部出前講座
1月30日 村田源一郎氏旭日中綬章受章祝賀会・募金贈呈
2月 7日 第3回運営委員会
2月 4日 盛岡市立城内小学校出前講座
2月24日 紫波町立星山小学校募金贈呈式
2月25日 2008年度第2回理事会
2月26日 軽米町立笹渡小学校募金贈呈・出前講座
3月21日 第8回いわてユニセフのつどい

岩手県支部収支決算報告（2009. 1. 31）

1. 収入の部

- （1）運営助成金・地域普及助成金は、日本ユニセフ協会の助成金として1, 907, 385円（予算比79. 5% 年間予算2, 399, 000円）です。
- （2）カード助成金は、カード&ギフト販売に対する助成ですが、年度末精算となります。

2. 支出の部

（1）事業費

- ① 催事費は予算比51. 4%の執行です。花巻友の会設立20年のつどいは実行委員会を組織しチケット販売をしました。その他ユニセフ写真展などです。
- ② 資料制作費は予算比71. 0%の執行となっており、岩手県支部ニュース、花巻友の会ニュース発行、活動集の作成費などです。
- ③ 通信運搬費は会員へのお知らせや、学校・団体への視聴覚教材・資料等の送付にともなう郵便代・宅急便代・切手代、電話代などです。予算比74. 6%の執行です。
- ④ 消耗品費は、啓発活動にかかわる封筒・文具等の購入によるものです。
- ⑤ ボランティア費は、ボランティアの啓発・募金活動を行う際にかかる交通費・ガソリン代などです。いわて生協・岩手県学校生協のユニセフ委員をはじめ会員ボランティアのご協力をいただいております。

（2）運営費

- ① 会議費は、理事会・評議員会・運営会議の開催にともなう会場費などです。アイーナNPOセンター・いわて生協あいセンターの無料会議室を利用させていただいております。
- ② 通信運搬費は、理事会・評議員会の開催にともなう切手代などです。
- ③ 消耗品費は、封筒・文具等の購入によるものです。
- ④ 印刷製本費は、理事会・評議員会・議案書作成によるものです。

日本ユニセフ協会岩手県支部 2008年度収支決算見込

至2008. 4. 1~2009. 1. 31迄

収入の部

大項目	中項目	小項目	2008年度予算	0841-09331迄	予算比	2.3月予算	2008年度決算見込	予算比	備考
助成金収入			2,399,000	1,907,385	79.5%	458,723	2,366,108	98.6%	
	運営助成金		659,000	659,000	100.0%	0	659,000	100.0%	前年1月~12月当該県の納入会費の50%
	地域普及助成金		1,580,000	1,148,385	72.7%	372,500	1,520,885	96.3%	地域普及助成金実施要項に基づく
	カード助成金		60,000	0	0.0%	86,223	86,223	143.7%	カード取扱目標額の15%
	その他の助成金	記念事業	100,000	100,000	100.0%	0	100,000	-	
雑収入			0	327		0	327	-	預金利息など
募金受入金			0	0		0	0	-	予算化しません。
カード受入金			400,000	0	0.0%	574,820	574,820	143.7%	カード取扱目標額
前期繰越金			55,245	55,245	100.0%	0	55,245	100.0%	
合計			2,854,245	1,962,957	68.8%	1,033,543	2,996,500	105.0%	

支出の部

大項目	中項目	小項目	2008年度予算	0841-09331迄	予算比	2.3月予算	2008年度決算見込	予算比	備考
事業費			1,710,000	1,165,952	68.2%	552,400	1,718,352	100.5%	
	啓発・募金活動費		1,690,000	1,159,790	68.6%	552,400	1,712,190	101.3%	
		催事費	650,000	334,170	51.4%	395,000	729,170	112.2%	催事実施費用、他団体との交流、募金活動
		資料制作費	220,000	156,185	71.0%	44,400	200,585	91.2%	機関誌・募金報告書ほか資料作成費
		旅費交通費	150,000	128,386	85.6%	13,000	141,386	94.3%	啓発・募金活動にかかる旅費と交通費
		通信運搬費	240,000	178,947	74.6%	30,000	208,947	87.1%	事業に伴う郵送代・宅配代・切手代・電話代
		消耗品費	20,000	23,645	118.2%	0	23,645	118.2%	啓発・募金活動にかかる文房具・ガソリン代
		ボランティア費	20,000	21,527	107.6%	0	21,527	107.6%	ボランティア交通費・保険など
		アルバイト費	20,000	16,330	81.7%	0	16,330	81.7%	臨時又は定期的なアルバイト手当
		光熱水費	0	0	-	0	0	-	電気代・ガス代・水道代
		事務所借料	0	0	-	0	0	-	
		OA機器リース料	0	0	-	0	0	-	
		事務局スタッフ費	360,000	300,000	83.3%	60,000	360,000	100.0%	常駐スタッフ(事務局長)の手当
		雑費	10,000	600	6.0%	10,000	10,600	106.0%	啓発・募金活動にかかるその他経費
	特別事業費			0	-	0	0	-	周年事業に関わる経費
	カード事業費		20,000	6,162	30.8%	0	11,162	55.8%	
		広報費	5,000	0	0.0%	5,000	5,000	100.0%	カード広報の費用、案内状等印刷代含む
		消耗品費	5,000	630	12.6%	0	630	12.6%	カードにかかる文房具代
		旅費交通費	5,000	0	0.0%	0	0	0.0%	カードにかかる旅費と交通費
		通信運搬費	5,000	5,532	110.6%	0	5,532	110.6%	カードにかかる通信費
		雑費	0	0	-	0	0	-	カードにかかるその他経費
運営費			650,000	461,277	71.0%	166,620	627,897	96.6%	
	会議費		60,000	33,676	56.1%	12,300	45,976	76.6%	理事会・評議会・総会会場費及び打合せ、お茶代
	通信運搬費		100,000	36,627	36.6%	50,000	86,627	86.6%	日常業務に関わる郵便代
	消耗品費		20,000	25,524	127.6%	0	25,524	127.6%	文房具
	図書資料費		0	0	-	0	0	-	
	印刷製本費		70,000	40,050	57.2%	30,000	70,050	100.1%	議案書・日常書類作成
	水熱光費		0	0	-	0	0	-	電気代・ガス代・水道代
	賃貸料		0	0	-	0	0	-	
		事務所借料	0	0	-	0	0	-	
		OA機器リース料	0	0	-	0	0	-	
	備品購入費		0	0	-	0	0	-	
	交通費		150,000	125,400	83.6%	24,320	149,720	99.8%	事務交通費
	事務局スタッフ費		240,000	200,000	83.3%	40,000	240,000	100.0%	常駐スタッフ(事務局長)の手当
	雑費		10,000	0	0.0%	10,000	10,000	100.0%	日常業務に関わるその他経費
募金払出金			0	0		0	0	-	予算化しません。
カード払出金			400,000	0	0.0%	574,820	574,820	143.7%	県支部が取り扱った額の協会への送金
次期繰越金			94,245	335,728	356.2%	-260,297	70,431	80.0%	
合計			2,854,245	1,962,957	68.8%	1,033,543	2,996,500	105.0%	

第2号議案 2009年度事業計画・収支予算（案）の件

世界の5歳未満の子どもの死亡数は、2008年、年間920万人と減少していますが死亡の約40%は生後28日以内です。

ユニセフ(国連児童基金)が毎年1月に出している『世界子供白書2009』では、妊産婦と新生児の死亡率削減にむけた実行可能な取り組みについて、提言しています。

子どもたちの生命と健やかな発達、基礎教育、HIV/AIDSと子どもたちの問題など、自立のための支援とユニセフへの理解を一層広めるための取り組みをすすめます。

1. 募金活動と会員の拡大に取り組みます。

(1) 一般募金の理解を広げ募金に取り組みます。

- ① 広く県民、団体、企業に、ユニセフ活動を普及し募金協力を広げます。
 - ・各生協での、ユニセフファミリー募金、お年玉募金、指定募金の支援をします。
 - ・この間、ユニセフ募金に取り組んでいただいている企業・団体に、県支部の資料等を提供し、引き続き取り組みを呼びかけます。
- ② 学校募金活動を広げます。
 - ・学校への資料提供、ユニセフ出前講座などの支援をします。
 - ・ユニセフハンド・イン・ハンド（全国一斉街頭募金 岩手県支部12/13）などで募金活動を呼びかけます。
- ③ 外国コイン募金、古切手、書き損じハガキに取り組みます。

(2) 日本ユニセフ協会からの呼びかけによる「緊急募金」に取り組みます。

ミャンマー・サイクロン、中国大地震、ガザ人道支援緊急募金に取り組みます。

(3) 他団体との提携

(4) 県内に友の会の組織作り

(5) ユニセフ募金箱設置協力を呼びかけます。

(6) 会員として、ユニセフ活動を応援する会員拡大は、役員をはじめ会員ひとりが一人を増やす取り組みで250人を超える会員になるよう取り組みます。募金額は1,000万円をめざします。

2. 広報活動・開発教育に取り組みます。

(1) 広報活動

- ① 「ユニセフ視聴覚教材（ビデオ・パネル）」、水がめ・地雷レプリカ・教育キット・ワクチンボックス・蚊帳の貸出しを行います。
- ② 日本ユニセフ協会発行の資料を有効活用します。
- ③ ユニセフ写真展・講演会等を通して、世界の子どもたちの現状を伝える場の提供に努

めます。

- ⑤ 岩手県支部ニュース・花巻友の会ニュースを年3回発行します。
- ⑥ 岩手県支部ホームページの作成

(2) 開発活動

- ① 学校や団体の要請に応え、「ユニセフと地球のともだち」を気軽に学習できる出前講座を実施します。
- ② ユニセフ講座の開催
- ③ ボランティア活動をすすめるために、研修会や交流会に参加します。
- ④ 留学生や若者の運営参加と場づくりに積極的に取り組みます。

3. 「地球のステージ」ありがとうの物語 上映活動

県内3ヶ所で上映

4. ユニセフカード・グッズの普及に取り組みます。

- (1) 他団体との提携で、年賀状など「ユニセフカード」の使用を呼びかけます。
- (2) 各イベント会場で、ユニセフカード&グッズの普及を行います。

5. 第9回「いわてユニセフのつどい」の開催

- (1) 目的 岩手県内の学校や職場・地域での活動を交流し、一年間の募金総額の報告とユニセフ活動への理解を深めます。
- (2) 日時 2010年3月 盛岡市

6. 他団体とのイベントに積極的に参加します。

- (1) 岩手県国際交流協会 ワンワールドフェスタ

7. 岩手県支部の運営

- (1) 会長との打ち合わせや、運営会議を必要に応じて開催します。
- (2) 事務局と運営ボランティアさんと協力して活動をすすめます。

日本ユニセフ協会岩手県支部 2009年度収支予算書(案)

収入の部

至2009. 4. 1~2010. 3. 31迄(単位:円)

大項目	中項目	小項目	2009年度予算	2008年度実績見込み	前年比	内容
助成金収入			2,330,000	2,366,108	98.5%	
	運営助成金		690,000	659,000	104.7%	前年1月~12月当該県の納入会費の50%
	地域普及助成金		1,550,000	1,520,885	101.9%	地域普及助成金実施要項に基づく
	カード助成金		90,000	86,223	104.4%	カード取扱目標額の15%(前年度分含)
	その他の助成金	記念事業	0	100,000	0.0%	
雑収入			0	327	0.0%	預金利息など
募金受入金			0	0		予算化しません。
カード受入金			600,000	574,820	104.4%	カード取扱目標額
前期繰越金			70,000	55,245	126.7%	
合計			3,000,000	2,996,500	100.1%	

支出の部

大項目	中項目	小項目	予算	2008年度実績見込み	前年比	備考
事業費			1,690,000	1,723,352	98.1%	
	啓発・募金活動費		1,660,000	1,712,190	97.0%	
		催事費	600,000	729,170	82.3%	催事実施費用、他団体との交流、募金活動
		資料制作費	230,000	200,585	114.7%	機関誌・募金報告書ほか資料作成費
		旅費交通費	160,000	141,386	113.2%	啓発・募金活動にかかる旅費と交通費
		通信運搬費	230,000	208,947	110.1%	事業に伴う郵送料・宅配代・切手代・電話代
		消耗品費	30,000	23,645	126.9%	啓発・募金活動にかかる文房具
		ボランティア費	20,000	21,527	92.9%	ボランティア交通費・保険など
		アルバイト費	20,000	16,330	122.5%	臨時または定期的なアルバイト手当
		光熱水費	0	0		電気代・ガス代・水道代
		事務所借料	0	0		
		OA機器リース料	0	0		
		事務局スタッフ費	360,000	360,000	100.0%	専従スタッフの手当
		雑費	10,000	10,600	94.3%	啓発・募金活動にかかるその他経費
	特別事業費		0	0		周年事業に関わる経費
	カード事業費		30,000	11,162	268.8%	
		広報費	10,000	5,000	200.0%	カード広報の費用、案内状等印刷代含む
		消耗品費	5,000	630	793.7%	カードにかかる文房具代
		旅費交通費	5,000	0		カードにかかる旅費と交通費
		通信運搬費	10,000	5,532	180.8%	カードにかかる通信費
		雑費	0	0		カードにかかるその他経費
運営費			640,000	627,897	101.9%	
	会議費		60,000	45,976	130.5%	打合せ、お茶代
	通信運搬費		80,000	86,627	92.3%	日常業務に関わる郵便代・HP
	消耗品費		30,000	25,524	117.5%	文房具
	図書資料費		0	0		新聞購入
	印刷製本費		70,000	70,050	99.9%	議案書・日常書類作成
	水熱光費		0	0		電気代・ガス代・水道代
	賃料		0	0		
		事務所借料	0	0		
		OA機器リース料	0	0		
	備品購入費		0	0		
	交通費		150,000	149,720	100.2%	事務交通費
	事務局スタッフ費		240,000	240,000	100.0%	専従スタッフの手当
	雑費		10,000	10,000	100.0%	慶弔に関わる経費ほか
募金払出金			0	0		予算化しません。
カード払出金			600,000	574,820	104.4%	県支部が取り扱った額の協会への送金
次期繰越金			70,000	70,431	99.4%	
合計			3,000,000	2,996,500	100.1%	

第3号議案

(財)日本ユニセフ協会岩手県支部役員に関する件

2008年度第1回理事会(2008年7月30日)以降に所属団体の役員変更に伴い新たに就任された役員の方々です。評議員1名減(故南部利昭さま)となります。

2009年2月25日現在(敬称略 50音順)

役 職	お 名 前	役 職 名
顧 問	達 増 拓 也	岩手県知事
会 長	村 田 源 一 朗	岩手日報社取締役会長
副 会 長	加 藤 善 正 藤 井 克 己	岩手県生活協同組合連合会会長理事 岩手大学学長
専務理事 常務理事	高 橋 セキ子 安 藤 厚 佐々木 みどり 高 橋 克 公 林 正 文 藤 川 智 美 向井田 郁 子 守 谷 祐 志	前岩手県生活協同組合連合会専務理事 前岩手県教育委員長 いわて生活協同組合副理事長 岩手県学校生活協同組合専務理事 (財)日本ユニセフ協会花巻友の会会長 ボランティアネットワーク 岩手代表 盛岡消費者友の会 福祉作業所ほのぼのホーム顧問
理 事	阿 部 正 樹 石 川 育 成 岩 田 俊 雄 稲 葉 暉 内 海 幸 司 及 川 公 子 大 島 宏 之 大 堀 勉 小野寺 明 美 富 永 健 治 作 山 雅 宏 瀬 川 玲 子 谷 藤 裕 明 豊 巻 浩 也 仲 元 正 明 沼宮内 淑 子 増 子 義 孝 宮 澤 啓 祐 矢 後 勝 洋	(株)IBC岩手放送代表取締役社長 (社)岩手県医師会会長 岩手県小学校長会会長 岩手県町村会会長 (株)岩手めんこいテレビ代表取締役社長 NPO法人岩手県地域婦人団体協議会会長 立正佼成会盛岡教会教会長 岩手医科大学理事長 (社)岩手県PTA連合会会長 (株)岩手朝日テレビ代表取締役社長 岩手県中学校長会常任理事 (財)日本ユニセフ協会花巻友の会副会長 岩手県市長会会長 岩手県教職員組合中央執行委員長 NHK盛岡放送局長 もりおか女性の会副会長 岩手県立大学名誉教授 宮沢賢治記念会理事長・花巻商工会議所会頭 (株)テレビ岩手代表取締役社長
監 事	秋 山 信 勝	秋山会計事務所所長

	伊藤 慶子	岩手県消費者団体連絡協議会事務局長
評議員	内宮 京子	日本ボーイスカウト岩手連盟事務局長
	遠藤 洋一	岩手県高等学校長協会会長
	及川 サチ子	岩手県退職女性校長会顧問
	大内 豊	盛岡タイムス社社長
	小野 務	日本労働組合総連合会岩手県連合会事務局長
	加藤 国雄	岩手県青年団体協議会会長
	川村 宗生	(株)川徳代表取締役社長
	菅 三郎	(社)岩手県社会福祉協議会会長
◎	清水 成樹	(社)日本青年会議所東北地区岩手ブロック協議会会長
	柴田 和子	盛岡ソントクラブ会長
	鈴木 露通	岩手県労働組合連合会議長
	菅原 陽一	盛岡ライオンズクラブ会長
	反町 久美	いわて生活協同組合理事
	高橋 克彦	作家
	千葉 進	岩手県高等学校教職員組合執行委員長
	柄沢 佐千代	盛岡パイロットクラブ会長
	長沢 寿一	岩手県農業協同組合中央会会長
	平井 心み子	(社)ガールスカウト日本連盟岩手県支部支部長
	三浦 五郎	岩手県私学協会会長
	村田 憲正	(株)エフエム岩手代表取締役社長
	八重樫 義一郎	岩手県商工会連合会会長
	八巻 恒雄	岩手県市町村教育長協議会会長
	吉田 富士子	国際ソロプチミスト盛岡会長

◎ 新たに就任された役員の方々です。

(財) 日本ユニセフ協会岩手県支部規約

- 前 文 (財)日本ユニセフ協会岩手県支部は、ユニセフと(財)日本ユニセフ協会が締結した協力協定および、(財)日本ユニセフ協会岩手県支部規約に基づき設立される。
- 第1章 総 則
- 第1条(名称) 本会は(財)日本ユニセフ協会岩手県支部と称する。
- 第2条(事務所) 本会の事務所は、岩手県滝沢村に設置する。
- 第3条(目的) 本会は、(財)日本ユニセフ協会の方針と指導の下に、世界の子どもたちの生存・発達・保護・参加のためにユニセフ協力活動を岩手県において促進することを目的とする。
- 第4条(活動) 本会は、第3条の目的を達成するために次の活動を行う。
1. ユニセフの事業に関するアドボカシー（政策提言）・広報活動
 2. ユニセフの事業支援のための協力活動
 3. 県内会員、募金協力者、地方自治体、関係団体との協力
 4. その他、本会の目的を達成するために必要な活動
- 第2章 運 営
- 第5条（会員） 本会は、ユニセフの趣旨に賛同する岩手県の（財）日本ユニセフ協会会員によって構成する。
- 第6条（種類） 本会の会員は次の3種により構成する。
1. 団体会員
 2. 一般会員
 3. 学生会員
- 第7条（役員） 本会に次の役員を置き、役員は理事の互選により選出する。
- 2) 任期は2年とし、再選を妨げない。途中で選任された役員の任期は残任期間とする。
 1. 会長 1名
 2. 副会長 3名以内
 3. 専務理事 1名
 4. 常務理事 若干名
 5. 理 事 20名以内
 6. 監 事 2名
 - 3) 理事および監事は評議員会において選任する。
- 第8条（役員の任務） 会長は本会を代表し、その業務を総理する。
- 2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時又は会長が欠けた時は、その職務を代行する。
 - 3) 専務理事は会長の意を受けて本会の業務を掌理する。
 - 4) 常務理事は理事会の議決に基づき、必要に応じて本会の業務を掌理する。
 - 5) 理事は本会の業務を議決し、執行する。
 - 6) 監事は財産・会計を監査する。
- 第9条(理事会) 会長は毎年2回以上理事会を開催する。
- 2) 理事会は次の事を決定する。
 1. 本会の活動方針と事業計画
 2. 本会の財政方針と予算
 3. 本会の役員選出
 4. その他、本会の業務に関する重要事項
 - 3) 理事会は3分の2以上の出席を要し、委任状をもって代わりとすることができる。
 - 4) 理事会の議決は、出席した過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決する。

- 第10条(評議員会) 本会は理事会の決定により評議員を25名以上40名以内に委嘱する。2) 評議員会は毎年1回以上開催する。
3) 評議員会は理事会の諮問に応ずる、または理事会に進言することができる。

- 第11条(顧問) 本会に顧問を置くことができる。
顧問は理事会が推薦し、会長が委嘱する。

第3章 執行

- 第12条(事務局) 本会は日常活動を実施する為に事務局を設ける。
1. 事務局長は理事会が任命する。
2. ボランティアの参加をできるだけ得るものとする。
- 第13条(会計) 本会の行う広報、募金、グリーティングカード取り扱いに必要な経費及び運営に要する経費については、(財)日本ユニセフ協会県支部規程および同県支部運営細則による。
- 第14条(年度) 本会の運営および会計の年度は創立年を除き毎年4月1日から翌年3月31日までとする。
- 第15条(通則) 本会の運営はこの規約による以外に、(財)日本ユニセフ協会寄付行為及び同県支部規程、同県支部運営細則による。

第4章 附則

- 第16条(改廃) 本会の規約の改廃は、理事会の議決によるものとする。
- 第17条(解散) 本会は理事会において理事の過半数の同意を得なければ、これを解散とすることができない。解散の場合における残余財産は理事会において理事の過半数の同意と(財)日本ユニセフ協会の了解を得てこれを処分する。
- 第18条(施行期日) この規約は2004年6月30日より施行する。

(日本ユニセフ協会岩手県支部 ホームページ 2月26日開設予定)

unite for children unicef

財団法人 日本ユニセフ協会岩手県支部

岩手のユニセフ活動 会員になって活動に参加したい方はこちら 募金のお願い ユニセフグッズ ライブラリー 岩手県支部紹介

（財）日本ユニセフ協会岩手県支部
花巻友の会設立20年記念のつどい
2001年12月8日開催

世界がぜんたい幸福にならないうちは
個人の幸福はあり得ない

上記「世界がぜんたい幸福にならないうちは」は宮沢賢治農林芸術振興会より、宮沢賢治著

このホームページは（財）日本ユニセフ協会岩手県支部が開設しています。
（財）日本ユニセフ協会岩手県支部は、岩手県で「世界の子どもたちに笑顔と希望を」を合言葉にユニセフ協力のネットワークを広げたいための活動拠点として、（財）日本ユニセフ協会によって10番目の支部として承認され、2001年12月8日に設立されました。支部の会長は村田源一朗岩手日報社取締役会長がつかつと、岩手で活躍される各界の代表の方々に理事、監事、評議員などに就任いただいています。

本ホームページの著作権は、（財）日本ユニセフ協会岩手県支部に属します。
掲載情報（文字・写真・イラストなど）を無断転載・リンクすることはできません。転載などを希望の方は所属・目的などを明記の上、事務局に連絡ください。
営利目的での利用は禁じます。

（財）日本ユニセフ協会岩手県支部 〒020-0080 岩手県岩手郡滝沢村土沢 220-3117 1F TEL: 019-397-4460 FAX: 019-399-4491 E-mail

ページが表示されました インターネット | 保護モード: 有効 100%

ユニセフ・パネル展 インド経済発展の陰で苦しむ子ども ～アグネス・チャン日本ユニセフ大使のムンバイ視察記録～

日時： 2008年 7月 20日（日）～ 7月 27日（日）

会場： 盛岡市 アイーナ
花巻市 まなび学園

知ることから始まるユニセフ活動

インドの商業都市ムンバイ（ボンベイ）1600万人の75%スラム街に住み、路上で暮らす子どもたち、児童労働、栄養不良や病気の子どもたち……ムンバイ市や地元NGOと協力して支援するユニセフの活動を知ることができました。

会場のアンケートでは、ユニセフについてはほとんどは知っており、黒柳徹子さんとアグネス・チャン大使の役割の違いはわからない人が多い。……

ユニセフカード&ギフトの頒布、古切手の整理ボランティアに参加した子どもたちと、同じフロアに設置された高校野球中継を見る人などにぎやかな中で開催しました。



（ユニセフ・パネル展アンケートから）

- ・ 自分たちが経済的に豊かに暮らしている陰で、世界の多くの人が生活に苦しんでいることがわかりました。“知る”ということはとても大切なことなので、今後もこのような活動を続けていただきたいです。私もいろいろなことを知り、少しでも困っている人の役に立つことをしたいと思いました。
（女性21歳）
- ・ 使い捨て、物あまりの今日、世界のおかれている現実を身近に感じ、女性として、若い世代で考てゆくべき課題も見えてきて、よき方向性が生じるようにと思っています。 （女性）
- ・ ユニセフに協力しているものですが、パネル展を見て、ユニセフ募金の役立っていることを知りました。 （男性70歳）
- ・ インドに行ったことがあるのでよく分かるのですが、写真に貧富の差がよく現れていると思いました。 （男性22歳）

「いのちの水」を学ぶ

2008 年 10 月 3 日



「1円募金」がユニセフでどのような援助活動に活用されているかについて学ぶユニセフ出前講座が、5、6年生 134 名が参加して開催されました。

ボランティア委員会が中心となってすすめられ、ビデオ「西アフリカ～マリからの報告」世界地図に5歳になる前に亡くなる子ども・きれいな水が手に入れられる人の割合が少ない国を班ごとに色をぬって、アフリカに多い、暑い国に多いなど感想を出し合いました。

1円募金は、11月16日開催のワン・ワールド・フェスタ in いわて(アイーナ)ユニセフチャリティコンサートで募金贈呈が行われる予定です。

ユニセフ・写真展 開かれる 「EYE SEE III～子どもたちが見たもの～」

2008年10月14日（火）～19日（日）イオンモール盛岡

主催：日本ユニセフ協会・ソニー(株)、

協力：イオンモール(株)盛岡・日本ユニセフ協会岩手県支部

子どもだって、言いたい大切なことがあるんだ。

子どもの声を聞いたら、世界の大人はたぶん分かってくれると思うよ。



楽しんでいるところを撮りたいんだ!

(ルワンダ・ルシエン ネグジャ 11歳)

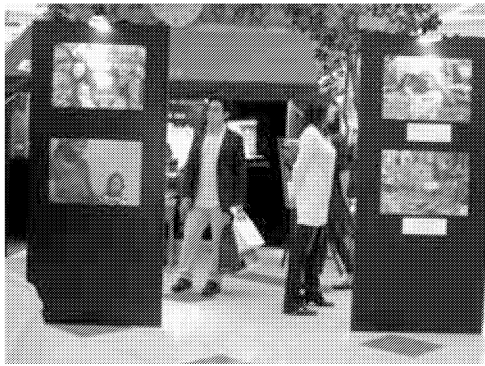
ユニセフの子ども写真プロジェクト「EYE SEE」は、紛争、災害、貧困などの困難な状況の中で暮らす子どもたちにデジタル写真の撮影を通じて、自分の身の回りの問題について考え、意見や感情を表現し、周りの人たちと「共有」。子どもたちが撮ったアフリカ・ルワンダとリベリアのありのままの生活や人びとの姿を映しています。

会場では、ユニセフが支援している教育キット、マラリヤから命を守る蚊帳、地雷レプリカ、経口補水塩などの展示、岩手県支部の活動紹介。ユニセフ募金・ユニセフカード&グッズに多くのご支援をいただきました。

見た感想をパソコンに書き込む人など・・・土・日は親子づれで大賑わいの写真展でした。

ご来場者の感想

- ・ 頑張っている姿を見て感動した。
- ・ アフリカではまだまだ整備がされていないので世界中で協力して貧富の格差をなくしていくことが必要だと思った。
- ・ ユニセフについて、初めて間近に観賞しました。世界でこんなに苦しんでいる人がいるのに、わたしたち日本人は食べ物を捨て、それが普通だと思っていました。今生きているこの日本は恵まれてるな～ととても実感しました。これから世界についてもっと深く考え、深刻に受け止めねばと思いました。こういう機会がなければユニセフを考えることはできません。こういう場にこられたことを本当にありがたく思います。



ユニセフ募金・カード&グッズ頒布
運営ボランティアのみなさん

2008ワンワールドフェスタ in いわて

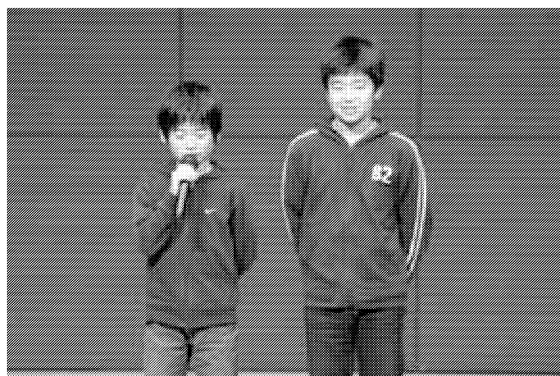
5感で、世界とつながる。

ハンド・イン・ハンド募金のスタート !!

岩手県国際交流協会主催の2008ワンワールドフェスタ in いわては、11月16日盛岡市アリーナで開催され、日本ユニセフ協会岩手県支部は実行委員会に参加し、ユニセフチャリティコンサート、ユニセフカード&グッズの頒布など延べ1000人の参加者と交流を深めました。



チャリティコンサートは、県立盛岡第二高校音楽部、滝沢英語サロン、ニンファと渋民中学生のコラボレーション演奏、ハンド・イン・ハンド募金を持って参加した盛岡市立上田小学校ボランティア委員会、岩手大学少林寺拳法部の募金贈呈があり、多くのユニセフ募金が寄せられました。



いのちの水を学んだ感想を述べる上田小学校ボランティア委員長

2008 ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金活動

県内 11月～12月 28会場で開催

募金総額 **869,109円**

ボランティア参加**756名**(小・中・高校・大学生**571名**)

○12月14日 盛岡・花巻で募金活動ボランティア257名

年末恒例のユニセフ「ハンド・イン・ハンド募金」は、いわて生協・岩手県学校生協・花巻友の会・岩手県支部が、12月14日（花巻12月7日）6会場で実施し294,680円の募金が寄せられました。

中学生・高校生・大学生の参加が217名と多く、各会場とも大きな声でハンド・イン・ハンド募金を呼びかけました。

今年のキャンペーンテーマ「**守りたい。子どもの命、アフリカの未来**」いま世界で5歳の誕生日を迎えることと亡くなる子どもは年間920万人。その半数はサハラ以南のアフリカの子どもたちです。HIVに感染している子どもの90%、マラリヤで亡くなる子どもの80%もこの地域に集中しています。



はじめは募金してくれるかととても不安でした。でもやってみてたくさんの方が協力してくれてとてもうれしかったです。お金の大切さを学ぶことができたので募金活動に協力してよかったです。

(中学生)



▲イオン盛岡南ショッピングセンター盛岡大学・見前南中学校・盛岡女子高校・盛岡市立高校のみなさん



▲イオン盛岡ショッピングセンター
滝沢英語サロンの小学生のみなさん

平和について学習した時、今自分にできることは何かと考えたとき、一番身近だったのは募金で、自分のためにも世界の人々のためにもなって良かった。(中学生)



イオン盛岡ショッピングセンター 盛岡市立土淵中学校・松園中学校のみなさん



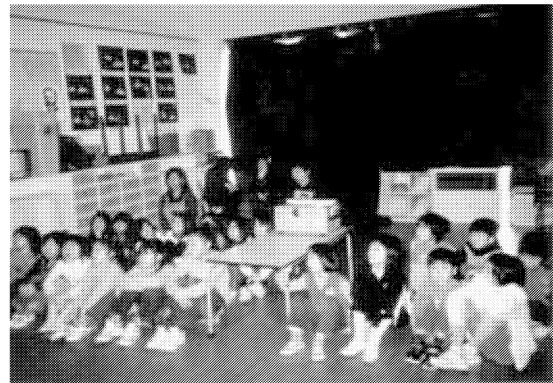
ホットライン肴町 河南中学生といわて生協ユニセフ委員・平和クラブのみなさん

**カワトク前 盛岡市立黒石野中学校、盛岡第二高校、盛岡第三高校、盛岡市立高校、
盛岡女子高校、いわて生協、ユニセフ会員**
花巻イトーヨーカドウ・マルカン前：花巻北中学校、南城中学校、花巻友の会会員

ありがとうございました。

ユニセフ出前講座

滝沢村ふじなでしこ学童保育 1月9日



▲ 水がめの説明を聞く子どもたち・ユニセフと地球のともだちのビデオ

盛岡市立城内小学校 2月4日



▲ 5歳未満で亡くなる子どもを世界地図にぬってみて、感想を話す子どもたち



▲ユニセフすごろくで楽しく学ぶ子どもたち

(財)日本ユニセフ協会岩手県支部

資 料

新聞報道による岩手県支部の活動

インドの子 貧困まぼまぼと

盛岡でユニセフ・パネル展

日本ユニセフ協会盛岡支部(会長・村田源一朗岩手日報社会長)の「ユニセフ・パネル展―インド経済発展の陰で苦しむ子ども―」は二十三日まで、盛岡市盛岡駅西通二丁目いわて県民情報交流センター(アイーナ)四階

2008. 7. 21 岩手日報



インドの商業都市ムンバイの貧困や児童労働の現状を伝えるパネル展

で開かれている。日本ユニセフ協会のアクネス・チャン大使がインドの商業都市ムンバイを視察した際に撮影したパネル写真十

四点を展示。物ごいをする親子や地下道で暮らすストリートチルドレン、路上でバイク洗いをする子どもなど貧困や格差、児童労働などの現状を伝える。同市西青山三丁目の

菅野昇さん(70)は「日本と世界の違いがよく分かる。ユニセフの活動も知ることができた」と熱心に見ていた。

同展は二十四日から二十七日まで、花巻市花城町の市生涯学習都市会館(まなび学園)でも開かれる。入場無料、開場は午前九時から午後五時まで。

2008. 7. 31 岩手日報

HPの開設や記念公演決定 ユニセフ県支部

日本ユニセフ協会盛岡支部(会長・村田源一朗岩手日報社会長)の本年度第一回理事会・評議員会は三十日、盛岡市中ノ橋通一丁目のプラザおでっで開かれ、本年度の事業計画や予算などを決めた。

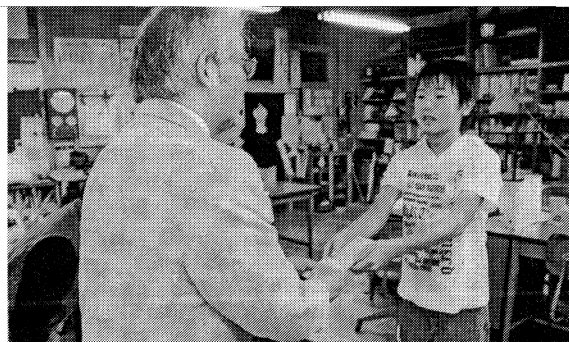


本年度の事業計画などを決めた日本ユニセフ協会盛岡支部理事会・評議員会

理事、評議員二十七人が出席。村田会長は

「世界中で苦しんでいる多くの子どもたちの命と健康を守るため、活動に尽力しよう」とあいさつした。

今後の事業計画として▽募金活動、会員の拡大▽九月に同支部花巻友の会設立二十年記念「地球のステージ」公演▽ホームページ(HP)の開設などを決めた。



桜台小の児童代表から寄付を受ける日本ユニセフ協会県支部花巻友の会の尾形副会長(左)

善意の募金 ユニセフに

花巻・桜台小、
友の会へ寄託

花巻市立桜台小学校は二十五日、世界の恵まれない子供たちのために役立てようと、日本ユニセフ協会県支部花巻友の会に寄付金を寄託した。同校では、六月から児童会の福祉委員会が八百

2008. 8. 26 岩手日報

副会長の尾形英夫さん、大野香さん、桜田正己さんの三人が同校を訪れ、福祉委員長の山崎純平君(六年)から尾形副会長に寄付金が手渡された。

四人の全校児童に募金を呼び掛け、総額七万四千九十六円が集まった。



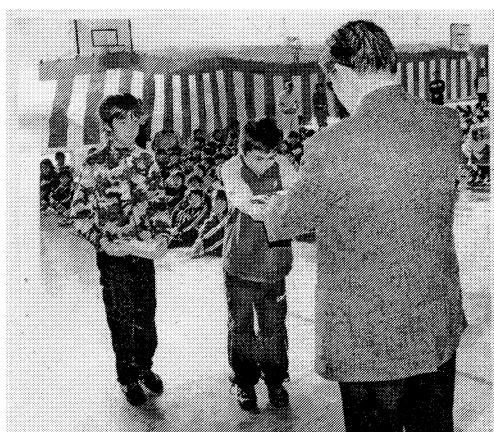
村田源一朗会長に寄付金の目録を手渡す佐々木みどり副理事長

2008. 9. 26 岩手日報

ユニセフ県支部に寄付金200万円贈る
いわて生協
いわて生協(池田和昌理事長)は二十五日、日本ユニセフ協会県支部(会長・村田源一朗、岩手日報社会長)に二百九十万三千百十七円を寄付した。ミャンマーのサイクロンと中国・四川大地震の被害者救済に役立てられる。佐々木みどり副理事長ら三人が盛岡市内丸の岩手日報社を訪問。佐々木副理事長は「家族や家を失った子どもがいらっしゃるの聞いていたので役立ててほしい」と、村田会長に目録を手渡した。いわて生協は五月下旬から六月中旬まで組合員に呼び掛けたり、募金箱を設置したりして寄付金を集めた。

ユニセフ友の会に 1万余円を寄付 矢沢小児童、花巻

花巻市立矢沢小学校の児童が十四日、同市高木の同校で、日本ユニセフ協会県支部花巻友の会に、全校児童で集めた一万四千六百八十三円を寄付した。林正文会長は「心のこもった募金を頂きありがたい。早速、協



ユニセフ花巻友の会に募金を託す佐藤副委員長(中央)と宮川委員長(左)

会を通じて現地に送る」と、児童たちに感謝した。林会長と、八木嘉一郎事務局長が贈呈式に出席。同校福祉委員会の宮川省吾委員長(六年)が

2008. 9. 15 岩手日報

同校ではユニセフの活動に賛同し、同会を通じて送金を続けている。今年七月に約十日間、同委員会を中心として募金活動を展開。各教室に募金用の瓶を置くなどして善意を募り、二万九千三百六十七円を集めた。今年七月は岩手・宮城内陸地震が発生したため、半額を被災地に義援金として贈った。

「世界中の恵まれない子供たちのために使ってください」とあいさつし、佐藤大樹副委員長(同)が林会長に募金を託した。

世界平和願い20年



ユニセフ活動に積極的に取り組む小中学校を表彰した花巻友の会設立20周年記念の集い

ユニセフ花巻友の会

活動協力校に感謝状

日本ユニセフ協会県支部花巻友の会（林正文会長）の設立二十周年記念の集いは五日、花巻市大通りのなはんプラザで開かれた。募金など、日ごろユニセフ活動に協力する市内の小中学校に感謝状を贈呈。東ティモールやパレスチナなどで医療支援活動を続ける上山病院（山形県）の桑山紀彦医師が講演し、会員らは発展途上国の子どもたちの支援へ誓いを新たにしました。

途上国支援の誓い新た

二百人以上が来場。オープニングセレモニーで、市内のコーラスグループが宮沢賢治が作った歌などを合唱した。林会長は「多くの市民の協力で、節目の年を迎えられた。世界の人たちが平和に生きていけるよう、活動を続けていきたい」とあいさつ。大石満雄市長が祝辞を述べた。ユニセフ活動に協力する桜台、湯口、矢沢の三小学校、花巻北、南城、東和の三中学校に感謝状を贈った。矢沢小六年の宮川省吾君は「自分たちの活動を表彰してもらい

うれしい」と喜んだ。東和三年の及川隆太君は「これからも自分たちができることを精いっぱい続けていきたい」と誓った。桑山医師は、自身が旅したインドやアフリ

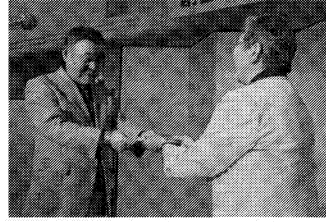
カなどの写真を、ギターなどの弾き語りも交えながら紹介。一生懸命に生きる子どもたちから受けた感動を伝えた。花巻友の会は一九八九年四月、賢治の平和の精神を胸に刻み、世の子どもたちの幸福のため活動の輪を広げようと、県内で初めて設立された。

2008. 9. 6 岩手日報

三反田二民区
ユニセフ募金

一関・創立30周年で

一関市山目の三反田
二民区(菊地泉区長)



高橋セキ子専務理事に
募金を手渡す菊地泉区
長(左)

は九月二十八日、日本
ユニセフ協会県支部
(会長・村田源一朗岩
手日報社会長)に十五
万円を寄付した。
贈呈は同市内のホテ
ルで行われ、菊地区長
が「子どもを守る活動
の一助にしてほしい」と
同協会県支部の高橋
セキ子専務理事に寄付
金を手渡した。
同民区の創立三十周
年を記念した寄付。高
橋専務理事は「引き続
き子どもを支援してほ
しい」と感謝した。

新聞回収の
益金を寄付

奥州・東水沢中が
日本ユニセフ協へ

奥州市水沢区の市立東
水沢中学校の生徒は二十
五日、全校で取り組んだ



この日は、同支部事務
局長の藤原綾子さんから三
人が同校を訪問。福祉委

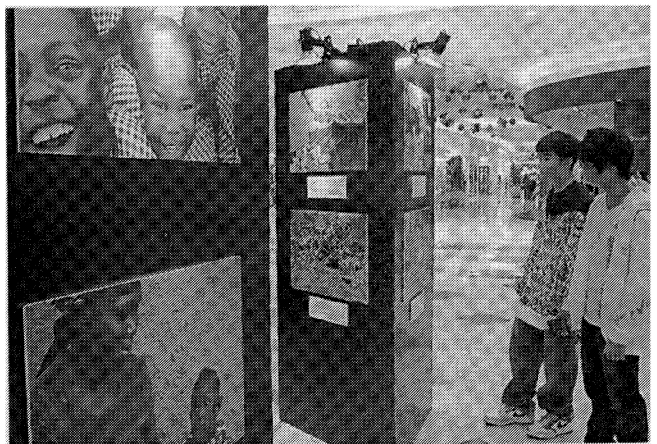
藤原さん(左)
に寄付金を手
渡す小林さん
……………
新聞回収の益
金を日本ユニ
セフ協会県支
部に寄付し
た。

新聞回収は
生徒会が呼び
掛け、福祉委
員が中心とな
って毎年行っ
ている取り組み。全校生
徒が各家庭から新聞を持
ち寄るもので、今年は四
千四百四十円の収益を得
た。

員長の小林愛さん(三
年)が「みんなが集めた
お金です。困っている子
供たちのために役立てて
ください」と述べ、藤原
さんに寄付金を手渡し
た。
藤原さんは「毎年継続
して応援していただき
のおかげで、五歳未満で
亡くなる子供たちが減少
している」と感謝し、「多
くの子供たちを助けるた
め、今後も継続した取り
組みをお願いしたい」と
語った。

子どもら撮影 アフリカの日常

19日までイオンモール盛岡で写真展



アフリカの子どもたちが自
分の日常を撮った写真を紹介
する「EYES SEE III」が
19日まで、盛岡市前潟のイオ
ンモール盛岡で開かれている
。写真。入場無料。
国連児童基金(ユニセフ)
などが昨年、貧困に苦しむリ
ベリアとルワンダの9、16歳
の子ども40人にデジタルカメ
ラを提供した。写真で表現す
る喜びを子どもたちに体験し
てもらおうとともに、見る人に
現地の状況を広く知ってもら
う狙いだ。プロのカメラマン
に手ほどきを受け、子どもの
目線で生活を切り取った。
リベリアの首都では、少女
が赤土の道ばたに雑貨を並べ
て売る様子が活写された。雑
踏で飲み水を売る別の女の子
の写真には「女の子が履いて
いるサンダルが両足で違う。
スカートには穴が開いてい
た。気が引けて、上半身しか
撮れなかった」などと撮影時
のメモも添えられている。

アフリカの子どもたちが自
分の日常を撮った写真を紹介
する「EYES SEE III」が
19日まで、盛岡市前潟のイオ
ンモール盛岡で開かれている
。写真。入場無料。
国連児童基金(ユニセフ)
などが昨年、貧困に苦しむリ
ベリアとルワンダの9、16歳
の子ども40人にデジタルカメ
ラを提供した。写真で表現す
る喜びを子どもたちに体験し
てもらおうとともに、見る人に
現地の状況を広く知ってもら
う狙いだ。プロのカメラマン
に手ほどきを受け、子どもの
目線で生活を切り取った。
リベリアの首都では、少女
が赤土の道ばたに雑貨を並べ

地域スポット

■ユニセフ岩手支部が
募金活動 日本ユニセフ



協会岩手支部（村田源一
明会長）は14日、盛岡市内
4カ所でアフリカの子ど
もたちの命を救うため募
金活動を行った。写真
寄せられた善意は伝染病

のワクチン購入や衛生活
動などに活用される。
会員や市内の中、高校
生、ボランティアら約2
00人が市中心部やショ
ッピングセンターで、買
い物客や通行人に募金を
呼び掛けた。
同市菜園1丁目のカワ
トク前では黒石野中や盛
岡二高などの生徒が活
動。盛岡二高JRC同
好会の菊池花那さん（1
年）は「1人でも多くの
子どもを救いたい」、富
田彩芽さん（同）は「少
しのお金で多くの子ども
の命が助かる。協力して
ほしい」と話していた。
同協会によると、5歳
まで生きられない子ども
は世界で年間約920万
人おり、その半数近くが
アフリカのサハラ砂漠以
南の地域にいるという。

ユニセフ（国連児童基
金）の街頭募金キャン
ペーン「ハンド・イン・ハ
ンド」は十四日、奥州市
水沢区佐倉河のコープア
テルイで行われ、約八十
人のボランティアが世界
の恵まれない子供たちへ
の支援を訴えた。
活動にはいわて生協組

2008. 12. 17 岩手日報

子供たちに支援を

ユニセフ街頭募金活動

奥州・水沢 中学生が呼び掛け



コープアテルイで行われたユニセフ街頭募金
「ハンド・イン・ハンド」

会員、水沢中学校の生徒
らが参加。「守りたい。
子どもたちの命、アフリ
カの未来」のスローガン
が書かれたポスターと募
金箱を持ち、「ユニセフ
募金に協力をお願いしま
す」と呼び掛けた。
同校三年の朝倉美希福
祉委員長は「たくさん
の人に協力してもらえ
うれしい。亡くなってしま
う小さい子供たちを減ら
したい」と話した。

同キャンペーンは、世
界の子供たちの幸せと明
るい未来を実現させるた
め、市民一人ひとりがボ
ランティアとして参加す
る身近な国際協力活動。
二十七日まで県内二十カ
所で行われる。寄せられ
た善意は、日本ユニセフ
協会に送られる。

高橋セキ子専務理事
（右）に寄付金を手渡
す坂本進事務局次長
（中央）、盛岡国際交
流協会の田口善政さん



コンサート益金
ユニセフに寄付
県国際交流協会
県国際交流協会（小
田島栄理理事長）は七日、
日本ユニセフ協会県支
部（村田源一明会長）
に十万円を寄付した。
贈呈式は盛岡市盛岡

駅西通一丁目のいわて
県民情報交流センター
（アイーナ）で行われ
た。県国際交流協会の
坂本進事務局次長は
「益金を支援に役立て
てください」と日本ユ
ニセフ協会県支部の高
橋セキ子専務理事に手
渡した。
高橋専務理事は「災
害や紛争などで子ども
や女性が犠牲になっ
ている。元気に暮らし学
校に通えるよう支援し
たい」と感謝した。
寄付金は二〇〇八年
十一月に県国際交流協
会と盛岡国際交流協会
が共催したワン・ワー
ルド・フェスティバル
の中で開いたコン
サートの益金の一部。

2009. 2. 8 岩手日報

事務局

(財)日本ユニセフ協会岩手県支部

〒020-0180 岩手郡滝沢村土沢220-3 いわて生協本部2F
TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491
e-mail:unicefiwate@snet.coop.or.jp

